

## 2 目標達成計画

事業所名グループホームやすらぎの里

作成日 28年01月31日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を活用し、委員とグループホーム職員との意見交換の場を持つ事で、質の高いサービスに繋げて行く。	運営推進会議で、グループホームの現状を具体的に報告しほームの抱えている問題点を提起し、困り事等を参加者全員で解決に向け意見交換する事で、そこでの意見やご指導をサービス向上に向けた支援に繋げて行く。	1年間
2	4	市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	始良市役所の担当者との連携を密に取り、疑問点は相談し指導を仰ぎつつ協力関係を築いて行く。	運営推進会議等に、始良市役所の職員も加わって頂き、地域の民生委員も交えた中で、一緒に協力関係を築いて行く、又難題が生じた際には、その都度介護保険係等に相談・指導を受けていく	1年間
3	19	職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら共に本人を支えていく関係を築いている	家族と本人のコミュニケーションを大切にし、グループホームの職員が関わる事で、信頼関係を維持出来る様にする。	家族と本人のコミュニケーションの場を図りながら、家族会や行事等への呼び掛けを密に行い、本人と家族が気兼ねなく接する機会を多く持てる様にして行く。	年間を通して
4	40	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を生かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	食の大切さや食事の楽しみを入居者個々人が理解出来る様に、管理栄養士による献立のチェックや栄養についての勉強会に入居者も参加する。	入居者と一緒に、献立を考えたり、それぞれの好みや味付け等も考慮した栄養についての勉強会を入居者参加で行う事で、食事の大切さや栄養バランスを考え、入居者と職員が一緒に調理する等生甲斐と楽しみが持てる食事作りを目指して行く。	年間を通して
5	54	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	全ての災害時に備え、日頃から地域の方々や他の事業所とも連携を取り、協力体制を築いて行く。	施設全体や事業所内の夜間防災訓練等を年に2回以上実施し、地域の方々にも参加して頂き、昼夜を問わず協力を得られる様に兼ねてより関係を築いて行く。	年間を通して